

報道関係各社 様

令和3年10月 4日



北越急行株式会社

ほくほく線 大地の芸術祭作品プレ公開

来年に開催を予定している「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」において、ほくほく線美佐島駅を舞台とした新作品を展開します。

これに先駆け、以下の内容でプレ公開を行います。

作 品 名: JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

作 家: パノラマティクス/齋藤精一

プレ公開日: 令和3年11月6(土)・7(日)・13(土)・14(日)の4日間

鑑賞方法: 特別列車(六日町～十日町・まつだい間運行)に乗車して、美佐島駅停車中に作品を鑑賞します。

特別列車運行ダイヤ: 1日3便 ※美佐島駅では乗り降りできません。

1便 六日町駅10:37→美佐島駅鑑賞→十日町駅11:02→まつだい駅11:12

2便 まつだい駅11:22→十日町駅11:31→美佐島駅鑑賞→六日町駅12:02

3便 六日町駅13:14→美佐島駅鑑賞→十日町駅13:38→まつだい駅13:48

鑑賞料金: 運賃にプラス鑑賞料一般600円、小中学生400円(税込)で乗車できます。

事前予約: ほくほく線ホームページ内の予約サイトで10月6日から予約可能。
空席があれば当日でも乗車可能。

内 覧 会: 報道各社様向けの内覧会を開催します。

【日時】令和3年11月5日(金) 10:30～12:00(予定)

【行程】六日町駅集合～特別列車乗車～作品鑑賞～十日町駅下車～記者会見

【出席者】パノラマティクス・齋藤精一主宰、十日町市・関口芳史市長、北越急行・小池裕明社長

【参加申込】座席に限りがございますので、事前のお申込みをお願いいたします。

作品介绍



参考写真 JIKU#006 MIND TRAIL2020 | 吉野 Photo Yuta Togo (画像はイメージ)

作品名：JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現するプロジェクトシリーズです。今回は、北越急行ほくほく線の美佐島駅が舞台。1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線。その軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされ、特別列車に乗車して訪れた人だけが鑑賞できる、体験展示となります。

作家：パノラマティクス／齋藤精一

技術と表現の新しい可能性を探求し、独自の作品だけでなく、アーティストや研究者との共同制作も数多く行っている「ライゾマティクス」から、2020年に新たな社会や産業構造の創造と実装に向けて、立ち上がった「パノラマティクス」。2025大阪・関西万博 People's Living Lab（ピープルズ・リビング・ラボ）クリエイターでもある。同チームの齋藤精一氏の大地の芸術祭への参加が決定。来夏のトリエンナーレに先駆け、作品をプレ公開します。

以上

<お問合せ・内覧会申込先>

北越急行(株) 営業企画部 担当：大谷

TEL 025-750-1251